

平成25年度 【 学園研究費助成金< A > 】研究成果報告書

学部名 文化情報学部

フリガナ ミタ タカアキ
氏名 見田 隆鑑

研究期間 平成25年度

研究課題名 地域連携によるバーチャルミュージアムサイトの構築とその実践的研究

研究組織

	氏名	学部	職位
研究代表者	見田 隆鑑	文化情報学部	講師
研究分担者	柄窪 優二	文化情報学部	教授
研究分担者	柴田 亜矢子	国際コミュニケーション学部	講師
研究分担者	ウィリアム・ペトルシャック	文化情報学部	教授
研究分担者	渡邊 康	教育学部	教授

1. 本研究開始の背景や目的等 (200字～300字程度で記述)

本研究は、地域に残される文化遺産のうち仏像に焦点をあて、大学と地域(愛知・稲沢市)が連携して、映像制作と公開を通じた地域振興の方法とその在り方を探求するものである。地域に残される仏像の映像化・発信の試みはあまり例がなく、それらが地域の知財として、また地域振興の観光資源として、十分に活用されているとは言い難い現状である。本研究はその状況を解決し、地域の文化遺産の活用を図る方向性を見出すことを目指すものである。また、英語版の制作を行い、海外へ文化情報を発信することも目標とする。こうした取り組みを通して、大学が社会に貢献し、地域の再生を支えるとともに、本学の教育・研究レベルも向上させることを目的とする。

2. 研究方法等 (300字程度で記述)

新撮する作品は、稲沢市教育委員会を通じて寺院の承諾を得た後、見田が撮影原稿を執筆し、柄窪と内容を検討した上で、現場での撮影に臨んだ。現場では学生が管理者へのインタビューを行った。収録後、柄窪ゼミの学生がナレーションを録音し、映像の編集を行った。完成後、管理者に確認を取り、YouTubeの大学チャンネル及び見田が管理するホームページ上で公開した。また、過去の作品も含め、見田が担当する講演等で映像作品を活用し、視聴者からアンケートを取り、内容の検証と評価を行った。英語版に関しては、柴田を中心に国際コミュニケーション学部の授業内で学生が昨年度制作した映像作品の翻訳を行い、収録と吹き替えを行った。この際、ペトルシャックによるネイティブチェックも行った。

3. 研究成果の概要 (600字～800字程度で記述)

昨年度は計3本の映像作品を制作したが、本年度は計5本の映像を制作し公開することができた。昨年度は直接寺院に依頼して映像制作を行う形であったが、本年度は撮影にあたり、稲沢市教育委員会生涯学習課に間に入って頂く形で撮影を行うことができたことにより、普段公開されていない秘仏の撮影許可が得られたり、仏像の像内銘文の撮影なども行えたりと、より質の高い、貴重な映像記録を残すことができた。また、インタビューにおいても寺院住職だけでなく、市職員にも参加して頂き、地域の仏像の特長を紹介して頂くことができた。制作した映像作品は、YouTubeの大学チャンネルで公開するとともに、見田が管理するホームページ上でも順次作品を公開していった。内容に関しては所蔵者からも良い評価を得ることができている。また、本年度は専門業者に依頼し、現在の一般的なデジタルアーカイブのあり方に対応した形でのホームページの作成を行った。また、昨年度制作した3本の映像作品をもとに、国際コミュニケーション学部の教員・学生を中心に英語での翻訳を行い、英語版の作品も合わせて公開していった。通常版を合わせると、今年度は計8本の映像作品を制作・編集し、公開できたことになる。各映像ともBGMに使用する音源は、地元作曲家の協力でオリジナル作品を使用することができた。インタビュー及びナレーションは学生が担当する形をとったが、複数回参加した学生についてはその経験を通して、技術・表現力の向上も確認することができた。また、見田が担当した稲沢市民を対象とする2つの講演、及び稲沢市民以外の参加者を対象とした文化講座の中で、制作した映像作品を用いた講演を行い、受講後にアンケート調査、ヒアリングを行い、視聴者の評価を確認するとともに、作品の改善点の模索を行った。また、講演を通して得られたアンケート結果の検証とともに、プロジェクト及び作業過程の紹介も合わせ、椋山女学園大学研究論集45号に見田・柗窪共著の形で「地域に伝わる仏像のハイビジョン映像化とその活用に関する研究」と題する論文を投稿し、研究成果を発表することができた。

4. キーワード (本研究のキーワードを1以上8以内で記載)

①地域文化	②仏像	③稲沢市	④地域連携
⑤バーチャルサイト	⑥デジタルアーカイブ	⑦映像	⑧文化財

5. 研究成果及び今後の展望 (公開した研究成果、今後の研究成果公開予定・方法等について記載すること。既に公開したものについては次の通り記載すること。著書は、著者名、書名、頁数、発行年月日、出版社名を記載。論文は、著者名、題名、掲載誌名、発行年、巻・号・頁を記載。学会発表は発表者名、発表標題、学会名、発表年月日を記載。著者名、発表者名が多い場合には主な者を記載し、他〇名等で省略可。発表数が多い場合には代表的なもの数件を記載。)

今年度公開した映像作品 (日本語版)

- ①<http://www.youtube.com/watch?v=cSUIwzce9co>
- ②<http://www.youtube.com/watch?v=s9W2aP3RtUs>
- ③<http://www.youtube.com/watch?v=57GRuhOZjtI>
- ④<http://www.youtube.com/watch?v=O2bz39iYnyw>
- ⑤<http://www.youtube.com/watch?v=K0xGqWFK2v4>

今年度公開した映像作品 (英語版)

- ①http://www.youtube.com/watch?v=FDwpggha_oJ0
- ②<http://www.youtube.com/watch?v=VZBX6MuEZLc>
- ③<http://www.youtube.com/watch?v=mkTXEe9a5uM>